二戸農業改良普及センターだより

第81号

平成 30 年 4 月 25 日発行

二戸農業改良普及センター

二戸市石切所字荷渡 6-3 TEL: 0195-23-9208

FAX: 0195-23-9387

URL: http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino_noukai/index.html

(岩手県のHPから二戸農業改良普及センターで検索!→ URL http://www.pref.iwate.jp/)

e-mail:CE0027@pref.iwate.ip

平成30年度スタートにあたって

~二戸農業改良普及センター所長 三田 重雄~

東日本大震災発生から7年が経過し、県では、「なりわい」の再生を一層力強く推し進めることとしており、農業もその中に位置づけ地域資源を生かした活力ある産業づくりに取り組むこととしております。

さて、二戸農業改良普及センター勤務2年目となります三田重雄と申します。

また、今回の定期人事異動により、新たに2名が加わり、若手からベテランまで16名の職員がそれぞれ新たな気持ちで既に現地活動を展開しております。1年間どうぞよろしくお願い致します。当センターでは、平成30年度を目標とした4年間の普及計画を作成し、最終年度の活動に入っておりますが、計画達成には関係機関との連携や農業者との協働が欠かせません。以下、重点的に展開していく9つの項目についてお伝えし職員一同頑張って参りますので、ご協力よろしくお願い



します。

- 1 認定農業者等の経営改善支援
- 2 新規就農者の確保・育成
- 3 集落営農組織等の育成・発展支援
- 4 地域特性を生かした米・畑作物の生産性向上支援
- 5 地域農業の核となる野菜の生産性向上支援
- 6 花きの需要に対応できる生産力向上支援
- 7 果樹のブランド化推進と生産力向上支援
- 8 大家畜経営の安定化支援※
- 9 所得向上に向けた6次産業化支援

※中央農業改良普及センター軽米普及サブセンターが対応します

また、農業改良普及センターの役割は、それぞれの普及員が持っている様々な「技術」を手段に しながらこの地域に暮らす農業者の皆さんがこれからも経営として成り立つよう経営改善、経営発 展に寄与することです。また、地域にあった農業生産の仕組みをつくる、特に、農家の高齢化や生 産額等の減少を踏まえ、生産構造を変えていかなければならず様々なチャレンジに取組んでいきま す。

そして、現場主義を徹底し農業者に信頼され、感謝される普及員になれるよう、農業者とともに 成長を実感できるよう職員一人ひとりが努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

普及センター組織体制

所長 技術主幹兼普及課長 普及課長 普及課長 み た **三田** さとう **佐藤** こわた **小綿** しげお しょういち たかはし まもる ひさし 重雄 髙橋 寸 寿志 正 · マネジメントチ 厶 担い手育成・ 総括•作物振興• 園芸振興・GAP 推進 集落営農推進 農村起業・情報 上席農業普及員 主查農業普及員 主查農業普及員 担 こんの **昆野** ぜんこう ともみ **智美** うちだ **内田** まなみ愛美 ふじた ご 藤田 手 農村起業育成 認定農業者•青年組織• 新規就農•集落営農 農村起業・6次産業化 Δ 集落営農 技師 よしだ & **吉田 優** 上席農業普及員 農業普及員 ゆり きむら木村 かおる かまもと 研 作 優里 物経営体育成チ 水稲・集落営農 畑作物・集落営農 水稲•畑作物

上席農業普及員 ぉ の ひろし **小野 浩司** 主查農業普及員 農業普及員 あかさか **赤坂** むらかみ村上 珠利 志保 園芸経営体育成チー (育児休暇中) 果樹・集落営農・GAP 花き 野菜 技師 技師 農業普及員 臨時職員 とだされ **戸田沢** こうえい ひきお **尚生** ふじむら **藤村** るない 赤坂 ひかる Δ 野菜 野菜 果樹 園芸全般の補助

〇中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター(畜産チーム) 管内の畜産に関する業務を担当しています。

上席農業普及員 西田 清 (肉用牛経営・公共牧場)

主査農業普及員 小松 真弓 (酪農経営)

(軽米普及サブセンター: 九戸郡軽米町大字山内 23-9-1 TEL 0195-47-1075 / FAX 0195-49-3013)

転入職員の紹介

やまもと けん **山本 研**

①出身地:八幡平市(旧安代町)

②担 当:水稲・集落営農

③前任地:盛岡農業改良普及センター

④趣 味:山登り(低山主体:現在休止中)

⑤好きな言葉:日日是決算

⑥ひとこと: 県北勤務は初めてなのでとても 緊張しておりますが、地域の実情を把握し、一 日でも早く皆さんのお役に立てるよう頑張り

ます。

赤坂 志保

①出身地:岩手県盛岡市

②担 当: 花き

③前任地:農林水産部農産園芸課

④趣味:旅行(今は子育て中につき休業中)⑤好きな言葉:マイペース(わがまま?)

⑥ひとこと: 久々の現場にドキドキ、ワク

ワク!?しています。

ふじむら こうえい 藤村 幸栄

①出身地:青森県

②担 当: 園芸全般の補助 ③前任地: なし(臨時職員)

④趣味:家庭菜園・山菜探索

⑤好きな言葉: 人を通してしか、本当の幸福

は得られない。

⑥ひとこと:自分のミッションを果たせるよう努めますので、よろしくお願いします。



地域の皆さま、 これからもよろしく お願いします!

転出職員の紹介

○伊藤 美穂

(作物・集落経営体育成チーム)

→大船渡農業改良普及センター

○槻木 智美

(臨時職員)

→退職

〇佐藤 有香

(園芸経営体育成チーム)

→農産園芸課



~ 地域の皆さま、たいへんお世話になりました ~

普及課題及び活動事項

普及課題	活動事項
音及課題 1.認定農業者等の経営改善支援 2.新規就農者の確保・育成	 店動事項 ○意欲ある農業者の経営力向上支援 (1)認定農業者等の経営能力向上支援 (2)経営改善実践農家の計画達成に向けた誘導 (3) 二戸地方岩手県農業農村指導士会運営支援 ○女性農業者の経営参画支援 (1)若い女性農業者の経営能力向上支援 (2)農村女性の経営参画や方針決定への参画促進 ○新規就農者の確保 (1)新規就農希望者に対する相談活動 (2)認定新規就農希望者等の経営計画作成支援
3.所得向上に向けた6次産業化支援	(3) トレーニング農場への実務研修支援 (4) 地域農業の理解促進支援 〇新規就農者の早期経営安定による定着支援 (1) 新規就農者の経営能力向上 (2) 新規就農者営農相談 (3) 新規就農者等の仲間づくり支援 〇起業活動実践者の育成及び支援 (1) 新たな起業活動実践者の育成 (2) 起業実践者への販売促進支援 (3) 経営改善支援
1.集落営農組織等の育成・発展支援	○産直活動支援 (1)産直活動活性化支援 ○法人化組織の経営力向上(金田一営農組合)
2.地域特性を生かした米・畑作物の生産性向上支援	(1) 作業時間の効率化のための指導・支援 (2) 大豆単収向上 ○ は場整備事業実施中の営農組織の法人化 (1) 経理の一元化等法人化に向けた支援(川又地区営農組合) (2) 経理の一元化等法人化に向けた支援(鳥海地区営農組合) ○ 多様な取組みを行う集落活動の活性化 (1) 集落営農組織の立ち上げ、営農ビジョンの策定 (二戸市福田地区、山内地区) ○ 実需に応じた米生産の品質向上 (1) 酒米の収量・品質向上 (2) もち団地の生産安定化
	1.認定農業者等の経営改善支援 2.新規就農者の確保・育成 3.所得向上に向けた6次産業化支援 1.集落営農組織等の育成・発展支援

		〇県北畑作物(雑穀等)生産基盤の強化
		(1)省力低コストモデル経営体支援
		(2) 雑穀の生産性向上支援
		〇畑作物優良種子生産
		(1) 基幹作業の集約化(無人ヘリ利用面積拡大等)
		(2) 播種・防除適期作業の重点指導
	1.地域農業の核となる野菜の生産性	○主要品目の長期安定生産の推進
	向上支援	(1) 作型分化による長期生産体系の導入と推進
		(2) 難防除病害虫対策技術の導入
		〇生産構造の改善と推進
		(1) 省力・低コスト栽培技術の導入
		(2) 経営補完品目の導入と拡大
		(3) 農作業労力支援体制の確立
	2.花きの需要に対応できる生産力	〇りんどうの安定生産
	向上支援	(1) 優良品種の導入推進
息		(2) 生産性向上に向けた栽培技術の導入
経		○きく類の安定生産化
営		(1) 優良品種の導入推進と栽培法の確立
体		(2) 生産性向上に向けた栽培技術の導入
育		○花き生産組織の強化
園芸経営体育成チ		(1) 新規生産者の確保
		(2) 雇用労働力の確保
Ĺ		(3) 既存生産者の生産拡大
	3.果樹のブランド化推進と生産力	〇ブランド果物の安定生産
	向上支援	(1) りんごの樹勢維持と高品質生産
		(2) おうとうの結実確保
		(3) ブルーベリーの大玉生産
		○ブランド果物の育成
		(1) ブランドりんごの育成
		(2) りんご新品種育成支援
		○果物を活かした観光農業の支援
		(1)ブランド果物の PR と消費者交流
軽	1.大家畜経営の安定化支援	OTMR センター及び利用酪農家の生産性向上
 		(1) 良質粗飼料生産の安定
」サ		(2) 利用酪農家の生乳生産性の向上と安定
		〇和牛繁殖農家の生産性向上
畜産チ		(1) 飼養管理技術の向上
圧		(2) 子牛育成管理技術の定着
)]		
占		